

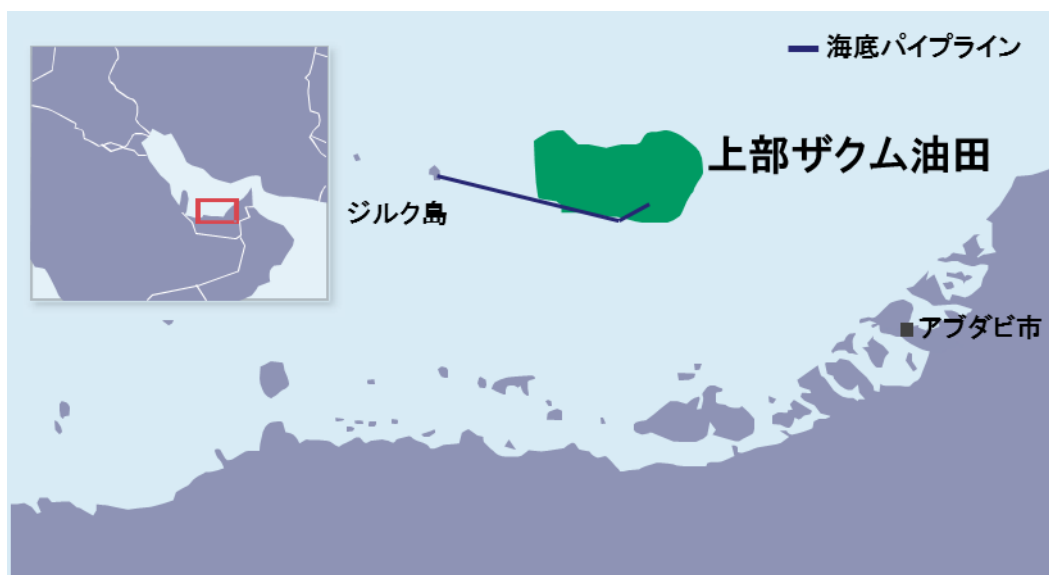
平成 26 年 1 月 21 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

アラブ首長国連邦アブダビ
上部ザクム油田の権益期限の延長について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のジャパン石油開発株式会社（JODCO）を通じて、アラブ首長国連邦アブダビ海上鉦区での原油生産プロジェクトに参画しておりますが、2026年3月9日に権益期限を迎える上部ザクム油田について、アブダビ政府が同油田の権益期限を2041年12月31日まで15年余延長することを決定しましたので、お知らせいたします。あわせて、同油田開發生産事業における当社財務条件も改定されました。



上部ザクム油田は、アブダビ市北西約 80km の沖合に位置し、鉦区面積が約 1,150km² の巨大油田です。1978 年からアブダビ国営石油会社（以下、ADNOC）と JODCO が共同で開発作業に取り組み、1982 年から生産を開始しました（ADNOC と JODCO の持分比率は 88%:12%）。2006 年 3 月には、エクソンモービル社（以下、EM）が ADNOC から権益の一部（28%）を譲り受ける形で参画しました。この間生産能力の拡大を続け、現在、上部ザクム油田はアブダビにおける主力油田の 1 つとなっております。JODCO、ADNOC 及び EM のプロジェクトパートナーは、

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

現在 75 万バレル/日の生産能力達成に向けて人工島をベースとした開発作業を進めております。さらに、この生産能力を 100 万バレル/日まで引き上げるべく、開発検討作業を実施することとしております。

このたびの権益期限の延長及び財務条件の改定は、ADNOC や EM との緊密な連携のもと、これまで当社が取り組んできた同国における操業実績や技術的貢献などが評価されたものと理解しております。また、今回の決定に至るまで、日本政府からも多大のご支援を頂いたところです。

今回の権益期限の延長は我が国のエネルギーの長期安定供給に大きく寄与するとともに、当社が中長期ビジョンに掲げる上流事業の持続的拡大に向けた大きな目標の一つが実現することとなります。

当社は、40 年以上にわたる歴史を有するアブダビでの石油開発活動を今後とも強化するとともに、同国と日本との良好な友好関係をさらに深めるための努力を引き続き重ねてまいる所存です。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微です。

以上